

## 7. 「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

### 1) はじめに

平成 29 年度以来 5 年間、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プラン事業のもと、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」事業を展開してきた。本学は、高知県立大学大学院・岡山大学大学院・徳島大学大学院・広島大学大学院・山口大学大学院の 5 つの大学院で組織されるがん高度実践看護師 WG の幹事校として、がん看護専門看護師の養成およびがん看護の質向上に向けた取り組みを行ってきた。令和 3 年度は 2 名の修了生を輩出し、5 名の修了生ががん看護専門看護師の認定を受け、また、38 単位のがん高度実践看護師教育課程は更新審査を受審し再認定をされた。

### 2) がん高度実践看護師WGの活動

がん高度実践看護師 WG では、「1. がん高度実践看護師の養成」「2. がん看護の質向上への貢献」を 2 つの活動テーマに挙げ、①各大学によるがん高度実践看護師の育成、②がん高度実践看護師リカレントコースの開講、③がん高度実践看護師 WG 講演会の開催、④5 大学院がん看護学合同セミナーの開催、⑤11 大学院チーム医療合同演習への参加 (教員は FD) ⑥HP などによる広報活動、⑦各大学におけるセミナー・特別講義の開催、⑧修了生に対するがん看護 CNS 認定試験までのサポートの 8 つの活動に取り組んだ。

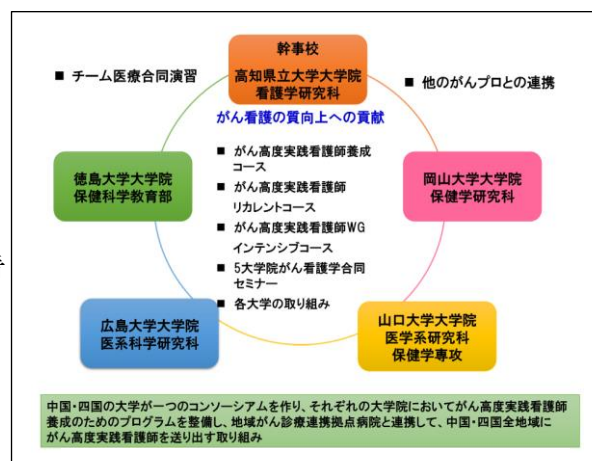


図 1 がん高度実践看護師 WG の活動

### 3) 高知県立大学の取り組み

高知県立大学大学院では、「1.がん高度実践看護師の養成」、「2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進」の 2 つを活動のテーマとしている。

がん高度実践看護師の養成では、38 単位の教育課程のプログラムに加え、がん看護実践を豊かにする取り組みを行っている。がん医療における質の高いがん看護実践の推進活動には、がん高度実践看護師 (APN) コース II、がん看護インテンシブコース I、がん看護インテンシブコース II を開講している。

#### (1)がん高度実践看護師の実践力を豊かにする取り組み

令和 3 年度は、がん看護実践看護師教育課程に加え、がん看護実践を豊かにする取り組みとして、以下のような取り組みを行った。

##### ①がん高度実践看護師 (APN) セミナー

- ・日時：2021 年 6 月 9 日 (水)、6 月 16 日 (水)、6 月 23 日 (水)、7 月 7 日 (水)、7 月 14 日 (水)、7 月 28 日 (水) の 6 日間
- ・場所：高知県立大学看護学部棟 C322 \*6 月は COVID-19 の影響により Web(Zoom)開催
- ・参加者：各回 1~3 名 (がん看護学領域学生 6 日間合計 14 名)

高知県内で活躍する修了生のがん看護専門看護師より、高度実践看護師としての役割機能別に、実践事例、倫理調整、コンサルテーション、コーディネーション、教育の事例など、活動の実際についてご講義いただいた。学生は、先輩の活動から、高度な看護実践とは何か、専門看護師の役割機能を具体的にどのように発揮していくのか等について学び、今後、学生自身が目指す高度実践看護師についての目標や課題を見出すことができていた。

## ②5 大学院がん看護学合同セミナー

- ・日 時：2021 年 8 月 29 日（日） 9：30～17：00
- ・場 所：徳島大学 Web(Zoom)開催
- ・テーマ：「がん患者におけるリンパ浮腫の病態生理と症状マネジメントの実際」
- ・講師：須網 博夫 先生(Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia, Associate professor, MD, PhD)  
Dr. Louise Koelmeyer (Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences, Sydney, Australia ALERT Director, BAppSc(OT), PhD)  
井沢 知子 先生（京都大学大学院医学系研究科 がん看護専門看護師）  
高西 裕子 先生（徳島大学大学院保健科学教育部・リムズ徳島クリニック 看護師）
- ・参加者：188 名

毎年開催しているがん高度実践看護師 WG の大学院に在籍する学生を対象としたリンパ浮腫ケアセミナーに、本学からは 1 名の学生が参加した。本年度も昨年に引き続き COVID19 の影響を受け Web 開催とした為、多くの看護職に広報し、参加いただいた。学生は、講義を通して、リンパに関する病態整理や症状マネジメント、ICG の可能性、保健医療制度、実際に看護場面にどう生かしていくのか、アセスメントやマネジメントの実際を学び、高度実践看護師として科学的根拠に基づく看護実践の重要性を改めて学ぶ機会となった。各大学院のがんプロ学生は、大学の枠を超え他大学や他施設の方とともに学び、専門的な学習を深めたいという意識が高まった。

## ③がん高度実践看護師（APN）コース I：専門看護師の育成

### ◆Life を支える高度実践看護師養成コース

～がん患者と家族のライフステージのニーズに応える高度実践看護師養成～

- ・目 的：がん患者と家族のライフステージのニーズに応えるがん高度実践看護師および、がん看護をサブスペシャリティとする高度実践看護師の養成
- ・対象者：高度実践看護師コースに在学中の学生
- ・コース内容：がん高度実践看護師（APN）コース II と同じ
- ・受講者：5 名（がん看護領域 3 名、小児看護領域 3 名）、うち修了者 4 名

## (2)看護職の看護実践能力の向上を目指す教育活動

### ①がん高度実践看護師（APN）コース II：専門看護師・認定看護師のリカレント教育

～Cancer Trajectory をたどる人のニーズに応える高度実践を創造する看護師の養成～

《コースの概要》

- ・目 的：ライフステージやがんの特性を考慮して、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる専門性の高い実践ができる看護師の養成
- ・テーマ：AYA 世代がん患者のケアとキュア アドバンスト編
- ・対象者：AYA 世代がん看護に携わる専門看護師、修士課程修了生、認定看護師
- ・履修科目：4 単位 60 時間  
AYA 世代がん看護基盤論、AYA 世代がん診断治療学、AYA 世代がん看護実践論、AYA 世代がん看護展開論
- ・履修期間：2021 年 9 月 4 日(土)、5 日(日)、10 月 16 日(土)、17 日(日)、11 月 13 日(土)、14 日(日)、2022 年 2 月 5 日(土)、6 日(日)の 8 日間
- ・修了要件：コースで定める 60 時間のうち各科目 8 割以上履修した者には、高知県立大学から修了証を交付
- ・場 所：高知県立大学池キャンパス看護学部棟 Web(Zoom)開催
- ・受講者：31 名、うち 26 名修了

【 2021 年度 AYA 世代がん患者のケアとキュア アドバンスト編 授業科目 】

**1. AYA 世代がん看護基盤論 (1 単位 15 時間)**

AYA 世代の身体的、心理的かつ社会的な特徴を理解すると共に、A 世代と YA 世代で異なる発達課題や性や生殖機能など世代特有の課題を踏まえ、AYA 世代がん患者への看護実践の基盤となる諸理論と、AYA 世代の権利擁護および倫理的思考について学修する。

＜達成目標＞

- ① AYA 世代の身体的、心理的かつ社会的な特徴を理解する
- ② AYA 世代がん患者への看護の基盤となる諸理論、ならびにその活用法について理解する
- ③ AYA 世代の権利擁護について理解し、倫理的思考に基づく看護の役割について説明できる  
(含：国内外の AYA 世代を取り巻く医療環境が抱える課題と戦略)

**2. AYA 世代がん診断治療学 (1 単位 15 時間)**

AYA 世代がん患者の特徴を踏まえたがん治療および診断の実際について理解し、高度実践看護師として、エビデンスに基づいて AYA 世代がん患者への看護のアプローチを提供する能力を獲得する。多種多様ながん種からなる AYA 世代がんにかかわる診断、治療および、晩期合併症など治療後の長期的・継続的な診療についての理解を深め、看護実践への適応について考察する。

＜達成目標＞

- ① AYA 世代特有の諸問題を医学的な観点から理解する
- ② AYA 世代がんの診断・治療のプロセス、それに伴う患者の反応および支援について説明できる
- ③ AYA 世代がん患者の社会的な支援・施策を理解し、看護実践と繋げることができる

【e-learning】・小児 AYA 世代がんの妊孕性温存：総論

**3. AYA 世代がん看護実践論 (1 単位 15 時間)**

AYA 世代特有の課題および AYA 世代がんの病態の理解を踏まえ、A 世代と YA 世代の異なる発達課題を踏まえた意思決定支援や、患者の将来を見通した生活の質向上を目指す高度な看護実践に応用するための基盤を学修する。

＜達成目標＞

- ① AYA 世代の特徴を踏まえ、AYA 世代がん患者と家族を包括的にアセスメントできる
- ② AYA 世代がん患者の家族の特徴を理解し、意思決定支援を含めた看護援助を提案することができる
- ③ AYA 世代がん患者の就学、就労、性や生殖機能に関する課題や社会的な支援・施策を理解し、質の高い生活を支援する方策を考案できる

【e-learning】・AYA 世代患者のがん看護

**4. AYA 世代がん看護展開論 (1 単位 15 時間)**

科目 1～3 の学修を踏まえて、高度な看護実践を展開できる能力を獲得し、AYA 世代がん患者への看護援助を考える。

＜達成目標＞

- ① AYA 世代がん患者の治療及び生活の場の特性を踏まえた看護援助を考案できる
- ② AYA 世代がん患者と家族の意思決定を支える看護について説明できる
- ③ 複雑な課題を抱える AYA 世代がん患者に対して、既習した理論を活用した看護援助を考える

がん高度実践看護師 (APN) コース II は、専門看護師・認定看護師のリカレント教育を目的としたプログラムである。2021 年度は『AYA 世代がん患者のケアとキュア アドバンスト編』をテーマに、AYA 世代がんの診断や治療、AYA 世代がん看護に関する専門的な知識や技術を学び、AYA 世代がん患者のニーズに対応することのできる専門性の高い看護実践力の修得を目指して実施し、26 名の修了生を輩出した。

中国・四国の高知、香川、愛媛、徳島、島根、岡山、広島、山口から参加があった。研修生は、がん看護専門看護師、小児看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、乳がん看護

認定看護師、不妊症看護認定看護師であった。

8日間のコースでは、講義やグループワーク等で知識を修得したのち、最終日は、既習の理論や現状、課題をふまえ、AYA世代がん患者の特徴を有する5事例のグループワークを行った。

AYA世代がん患者への看護実践に向けて知識の統合と患者理解を深め、根拠に基づき新たな視点を含めた看護援助を考案することができた。

#### 《研修生の学び》

研修生からは、「AYA世代の方の背景や発達段階を踏まえて考えることができた。」「患者本人だけでなく家族の意思決定は、治療や療養の方針に大きく影響するので、家族も患者と同じように発達課題や役割を考慮した看護が必要とわかった。」「患者をさまざまな視点から全体像を捉えること、また、家族も含めてそれぞれの体験を理解して支援していくこと、そして、将来起こりうる事象を予測してサポートを続ける重要性とその方策の検討が重要であることがわかった。」「毎回の講義すべてが専門性の高い看護実践に活用できる内容」などの声が聞かれており、AYA世代がん患者の特徴を踏まえた生活の質向上を目指した看護の専門的知識や技術を習得する機会となっていた。

#### 《活動評価》

2年連続してWeb開催となった。Web開催は時間や費用面においても受講しやすい利点があり、受講生が多かった。Web上でも講義やグループワークで学びを深めることができていたが、一方で、「演習や最終日の事例検討は対面で実施した方がより効果的である」や、「受講者同士の交流の機会が少ない」等の意見があった。今後、効果的により多くの看護職が受講できるよう、研修開催方法や内容を検討していく必要がある。

## ②インテンシブコース I

～高齢がん患者に安心をもたらすケアを創造していく訪問看護師育成～

#### 《コースの概要》

- ・ 目的：高齢がん患者の入院早期から退院後の生活を見通してケアを提供し、在宅医療の可能性と選択肢を広げることのできる看護職および、チーム医療を基盤とする在宅がん医療をコーディネートしていくことのできる、高齢がん患者とその家族のケアに関する専門的知識と技術を有する看護職の養成
- ・ 対象者：中国・四国地方に在籍する、高齢がん患者の看護に携わる訪問看護師および在宅移行支援の必要な高齢がん患者の入院病棟および外来、地域連携室等の看護師

- ・ 研修期間(講義/演習)：2021年10/2(土)、3(日)、4(日)、11月27日(土)、28日(日)、12月18日(土)、19日(日)、2022年2月13日(日)の11日間
- ・ 見学実習：2022年1/11(火)～2/10(木)(このうち平日の3または4日間)
- ・ 履修内容：講義、演習、見学実習、実習の振り返りと自施設での実践、事例検討を含めた90時間
- ・ 修了要件：コースで定める60時間のうち各科目8割以上履修した者には、高知県立大学からの修了証を交付
- ・ 場所：高知県立大学池キャンパス看護学部棟3階 C309、1階C112  
2月13日(日)最終日はCOVID-19の影響によりWeb(Zoom)開催へ変更
- ・ 参加者：8名

平成30年度より新たにスタートしたがん看護インテンシブコース I は、高知県の在宅高齢がん看護、高齢者看護、在宅医療や福祉に携わる機関や多職種と協働し、高齢がん患者のケアに特化した研修である。また、座学だけでなく、e-learning、シミュレーション教育、自施設での実践を取り入れ、講義－演習－実習をつなげる15日間の現任教育のプログラムである。

2021年度の受講生は8名であり、高知県内で訪問看護ステーション、病院、在宅療養支援診療所に勤務する看護師であった。COVID-19の影響により、一部、講義や演習に制限や変更が加わり、見学実習については、実施できた日もあったが、その多くが自己学習に変更となった。

### 《研修生の学び》

受講生からは、「高齢がん患者の看護について、系統立てて学ぶことができた。」「高齢とがんの問題点や観察点に着目し、セルフケアの分野も考えられる意識づけができた。」「実際に行われている看護やサービスを知ることで、退院後のイメージが付き、患者への説明に自信がもてる。」「病棟勤務しかしていないナースにとって、知らなかったことが多く、視野が広がった。」「高齢がん患者の意思決定に関連するガイドラインの内容がわかり、グループワークを通して倫理的問題に解決に向けた展開ができた。」などの声が聞かれており、高齢がん患者の在宅療養を支援するための様々な知識や技術を学び、新たな気づきや視野の広がりを得ることができた。

### 《活動評価》

昨年度から新たに取り組んだ自施設実習では、受講生が各々の現場で、これまで学習してきた知識や技術を、アセスメントシートを活用しながら看護実践につなげることができていた。見学実習の多くが実施できず自己学習となったが、受講生が所属する各々の施設の役割や実践について共有することで、学びを深めることができた。また、ディスカッションを通して、知識や技術を受講生自身の中に落とし込むことができ、実践に活用する自信や意欲につながっていた。今後、受講生が研修の学びを自施設で発揮し、講師や研修生同士のネットワークを強化していくことで、高知県内における高齢がん患者の在宅療養移行支援及び訪問看護の充実や質向上につながると考える。

### ③インテンシブコースⅡ：がん高度実践看護師WG講演会

- ・日 時：2021年7月11日（日）13：00～16：40
- ・場 所：高知県立大学池キャンパス Web(Zoom)開催
- ・テーマ：高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニング
- ・講師／テーマ

木澤 義之 先生（神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授）

「アドバンス・ケア・プランニング～高齢者の意向を尊重した医療・ケアのために～」

高梨 早苗 先生（国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター 老人看護専門看護師）

「高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニングへの看護実践」

- ・参加者：261名

がん高度実践看護師WGでは、「ライフステージの様々な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師養成」を5年間の全体テーマとし、2021年度は「高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニング」をテーマに、講演会を開催した。講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みWeb（Zoom）で開催とし、中四国全県、近畿、九州等から、高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニングに関心の高い看護師、保健師、助産師、医師、臨床心理士、社会福祉士、大学院生等、261名の参加があった。

木澤医師の『アドバンス・ケア・プランニング～高齢者の意向を尊重した医療・ケアのために～』では、アドバンス・ケア・プランニングについての概念や、アドバンス・ケア・プランニングの実践について詳しく学ぶことができた。高梨専門看護師の『高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニングへの看護実践』では、高齢者の特徴やがん治療への影響、認知症高齢者のACPにおける看護師の役割について学ぶことができた。参加者アンケートでは、講演会の内容について、回答者全員が具体的にわかったと回答し、アドバンス・ケア・プランニングの意義や今後の取り組みについて考えることができたとの意見があった。アドバンス・ケア・プランニングについて基礎的な知識や医療の提供体制と課題、チーム医療の重要性、高齢者がん患者の「生きる」を支える看護職、医療職としての役割について考える機会となった。

### 4) 第3期 中国四国がんプロコンソーシアム5大学院の総括

第3期(平成29年度～令和3年度)のがんプロフェッショナル養成プランの中国・四国の「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」事業は本年度が最終年度となった。以下に、5年間の2つの活動テーマの実績を示す。

(1) がん高度実践看護師養成 (平成 29 年度～令和 3 年度末)

	入学者 (CNS コース)	修了者数	CNS 認定数
高知県立大学	10 名	10 名	9 名
岡山大学	0 名	0 名	1 名
徳島大学	6 名	6 名	5 名
広島大学	7 名	5 名	4 名
山口大学	3 名	4 名	2 名

(2) がん医療における質の高いがん看護実践の推進

【取り組み 1】 がん看護学合同セミナー (於：徳島大学)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
参加人数 (コース学生)	9 名 (4 名)	13 名 (6 名)	14 名 (3 名)	22 名(web) (6 名)	188 名(web) ※(不明)	246 名

※名前と所属先で名簿作成をしていたため、院生の人数不明

【取り組み 2】 がん高度実践看護師 WG 講演会

参加人数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
高知県立大学	35 名	72 名	25 名	79 名(web)	261 名(web)	472 名
岡山大学	34 名	246 名	53 名	22 名	—	355 名
徳島大学	38 名	35 名	24 名	40 名(web)	119 名(web)	256 名
広島大学	26 名	52 名	59 名	79 名(web)	56 名(web)	272 名
山口大学	22 名	14 名	22 名	22 名	14 名(web)	94 名

高知県立大学の「がん高度実践看護師 WG 講演会」の 5 年間のテーマ

開催年度	テーマ
平成 29 年度	小児がんの治療と高度な看護実践
平成 30 年度	AYA 世代を支えるがん看護 一看護師ができること、伝えたいこと
令和 元年度	働く世代のがん患者を支えるがん看護
令和 2 年度	遺伝性腫瘍と生きる患者へのがん看護
令和 3 年度	高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニング

【取り組み 3】

がん高度実践看護師 (APN) コース I・II リカレント教育 (8 日間全日出席コース)  
～Cancer Trajectory をたどる人のニーズに応える高度実践を創造する看護師養成～

開催年度	テーマ	受講者数
平成 29 年度	小児がんの子どものケア	12 名
平成 30 年度	高齢がん患者の治療とケア	29 名
令和 元年度	AYA 世代がん患者のケアとキュア	15 名
令和 2 年度	高齢がん患者の治療とケア アドバンスト編	35 名
令和 3 年度	AYA 世代がん患者のケアとキュア アドバンスト編	36 名
合 計		127 名

#### 【取り組み 4】

がん看護インテンシブコース I リカレント教育 (15 日間全日出席コース)  
～高齢がん患者に安心をもたらすケアを創造していく訪問看護師育成～

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
研修参加者数	開催なし	11 名	6 名	5 名	8 名	30 名

#### 5) おわりに

第 3 期(平成 29 年度～令和 3 年度)のがんプロフェッショナル養成プランにおいて本学はがん高度実践看護師 WG の幹事校として活動を行い、現在、修了生の 45 名ががん看護専門看護師として全国で活動している。今後は、第 4 期にむけて、今年度の内容を評価し、新たな取り組みを模索したい。

1. がん高度実践看護師養成
  - ・受験生確保とがん高度実践看護師教育課程の継続
  - ・がんプロ修了生による APN セミナーの継続
  - ・CNS 認定試験受験の継続支援
2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進
  - ・リカレント教育
    - ①ジェネラリスト対象の教育活動
    - ②スペシャリスト対象の教育活動

リカレント教育においては、トピックスや興味関心の高いテーマの研修を企画し、高度実践看護師および地域の看護職の看護実践向上につながるよう研修内容の充実を図っていきたい。